

MISSION2

取扱説明書



目次

取扱説明書

目次

1. はじめに	3	2.4.3 コンパス	14
1.1 ダイビングの安全性	3	2.5 潮汐	15
1.2 箱の中には何が入っているの？	4	2.6 天気情報	16
1.3 ストラップの取り外し/交換	4	2.7 ストップウォッチ	16
1.4 基本操作	4	2.8 目覚まし時計	16
1.4.1 ボタンの機能	4	3. ダイブモード	17
1.4.2 電源オン/オフ	5	3.1 水圧感知オートオン	17
1.4.3 リセット	5	3.2 飛行機搭乗禁止時間と水面休息时间	17
1.4.4 充電	5	3.3 スクーバモード	18
1.5 スマートフォンとのペアリング	6	3.3.1 スクーバ準備画面と操作方法	18
1.6 スマート通知	7	3.3.2 スクーバ設定	18
1.7 ファームウェアの更新	8	3.3.3 スクーバスクリーンレイアウトとアラーム	20
1.8 タイムフェイスの変更とカスタマイズ	9	3.3.4 スクーバログ	27
1.8.1 時計の文字盤を変更する	9	3.3.5 ダイブプラン	27
1.8.2 写真でタイムフェイスをカスタマイズする	9	3.3.6 高度	28
1.9 画面保護と紛失防止	10	3.4 フリーダイビングモード	28
2. ウィジェット	10	3.4.1 フリーダイビング準備画面と操作方法	28
2.1 心拍数の測定	11	3.4.2 フリーダイビングの設定	28
2.2 睡眠モニタリング	12	3.4.3 フリーダイビング画面レイアウトとアラーム	29
2.3 歩数・カロリー	13	3.4.4 S.I.(水面休息) リマインダー	31
2.4 アウトドア	14	3.5 ゲージモード	32
2.4.1 日の出と日の入りの時間	14	3.5.1 ゲージ準備画面と操作	32
2.4.2 高度の校正	14	3.5.2 ゲージ設定	32
		3.5.3 ゲージ画面レイアウトとアラーム	33
		4. GPS	34
		4.1 ダイビングGPS	34
		4.1.1 エントリー&エキジット記録	35

4.1.2 ダイビングポイント	32	9. MISSION2 仕様	54
4.2 スポーツGPS	32	10. お問い合わせ	58
5. アクティビティ	36		
5.1 ランニングモード	36		
5.1.1 ランニング準備画面と操作	36		
5.1.2 ランニング用語:	37		
5.1.3 ランニング設定	37		
5.1.4 ランニング画面レイアウトとアラーム	38		
5.2 サイクリングモード	40		
5.2.1 サイクリング準備画面と操作	40		
5.2.2 サイクリング用語	41		
5.2.3 サイクリング設定	43		
5.2.4 サイクリング画面レイアウトとアラーム	44		
5.3 スイミング	45		
5.3.1 スイミング準備画面と操作	45		
5.3.2 スイミング用語	46		
5.3.3 スイミング設定	46		
5.3.4 スイミング画面レイアウトとアラーム	47		
5.3.5 不正確な距離	48		
5.4 スキー/スノーボード	49		
5.4.1 スキー/スノーボード準備画面と操作	49		
5.4.2 スキー/スノーボード用語	49		
5.4.3 スキー/スノーボード設定	50		
5.4.4 スキー/スノーボード画面レイアウトとアラーム	51		
6. 保管とメンテナンス	52		
7. 保証規定	53		
8. サービス	54		

1. はじめに

1.1 ダイビングの安全性

- MISSION2 を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- 取扱説明書は、MISSION2の初期設定に基づいたものです。
- MISSION2だけを安全管理ダイビング機器として使用しないでください。ダイビング中に機材が故障した場合の緊急対策も含め、ダイビング前に詳細な安全確認を行ってください。
- ファームウェアのアップデートは、随時ATMOSサポートサイトで公開されます。ダイビングの前に更新を確認してください。
- ダイビングにはリスクが伴います。MISSION2は訓練を受けたダイバーのみが使用してください。ダイブコンピューターはトレーニングの代用にはなりません。認定レベルを超えるダイビングではMISSION2を使用しないでください。自分の能力や体調を正しく把握せずに潜水すると、怪我や死亡事故につながる可能性があります。
- MISSION2はレクリエーションダイビング用に設計されています。作業ダイビングには使用しないでください。
- 10m/分以上のスピードで上昇しないでください。これ以上のスピードで浮上すると、減圧生理に悪影響を及ぼします。
- 減圧停止は、MISSION2が指示する減圧停止を守ってください。減圧症のリスクが高まり、重大な怪我や死亡事故につながる可能性があります。
- MISSION2 は精密機器です。衝撃や化学物質からコンピューターを保護するように注意してください。直射日光を避け、高温になる場所や車内に放置しないでください。
- 温泉や湯船、サウナなどでは使用しないでください。
- ボタンやセンサーの破損を防ぐため、エアガン等は使用しないでください。過度に汚れた場合は、真水に浸し、やさしく汚れを洗い流してください。洗剤や溶剤は使用しないでください。
- 付属の画面保護シールをご使用ください。交換用の画面保護シールは、正規販売店でお求めください。
- ダイブコンピューターは共用しないでください。ダイバーがダイビング情報を誤認し、重大な傷害を引き起こす可能性があるため、共有は避けてください。

1.2 箱の中には何が入っているの？

- MISSION2
- 充電ケーブル
- 画面保護シール(2枚)
- ストラップピン(2本)
- 保証書

1.3 ストラップの取り外し/交換

付属のリストストラップの他に、長いストラップが別売されております。

ATMOS正規販売店から購入することができます。

ストラップを取り外す

- 1) ストラップのスプリングクリップを縮められた状態にします。
- 2) ストラップを持ち上げます。
- 3) ストラップのスプリングクリップを外します。

ストラップを取り付ける

- 1) ストラップ取り付け穴に、スプリングクリップの反対側のストラップピンを差し込みます。

- 2) ストラップのスプリングクリップを押し縮め、ストラップピンをストラップ取り付け穴に合わせます。

- 3) ストラップのスプリングクリップを離します。

- 4) ストラップがしっかりと固定され、スプリングクリップがロックされた位置に戻っていることを確認します。

1.4 基本操作

1.4.1 ボタンの機能



ボタンの機能は、操作方法によって異なります。例：短く押すか、3秒間押し続ける(「長押し」)等があります。

また、メニューレベルによっても機能が異なる場合があります。

ボタンA(押す): スマート通知/アップ

ボタンA(長押し): Bluetoothの接続を切り替えます。オン/オフ

ボタンB(押す): アクティビティメニュー / 決定

ボタンC(押す): 設定/ダウン

ボタンC(長押し): ストップウォッチにアクセス

ボタンD(押す): MISSION2 設定メニュー/戻る

ボタンE(押す): バックライトのオン/オフ

ボタンE(長押し) 電源オフ

1.4.2 電源オン/オフ

電源オン

1) ボタン E を 2-3 秒間押し続けるか、MISSION2 を充電ケーブルに接続します。

電源オフ

1) 時計モードで、ボタンEを2-3秒長押しします。

1.4.3 リセット

深度ロックダウン(急激な気圧の変化でダイビングをしていないのにダイブモードになってしまう状態)が発生した場合、右上と右下のボタンを5秒間押すとMISSION2を再起動させることができます。未完了のアクティビティは記録されません。

1.4.4 充電

通常の使用では、MISSION2をフル充電するのに約2時間かかります。

完了すると、画面には100%と表示されます。長期間充電しないまま放置した場合(数週間など)、充電に時間がかかることがあります。

- 重要: DC 5V/2A の安全認証定格電圧の電源アダプターを使用してください。定格電圧を超えるコネクタや急速充電器は使用しないでください。これらのものを使用すると、バッテリーの寿命に悪影響を与えたり、過熱の原因となることがあります。
- 充電する前に、充電ポイントがきれい乾燥していることを確認してください。水分や汚れは、充電効率に重大な影響を与え、破損の原因となることがあります。
- 充電するときは、充電ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

- 充電の位置がずれていると、接続がうまくいかず、本体が過熱することがあります。
- MISSION2 のリチウム電池は、完全に放電すると破損することがあります。MISSION2には、完全に放電される前に電池を切る保護機構が内蔵されています。しかし、それでも時間の経過とともに少量の放電は起こります。定期的な充電をせずに長期間使用しないままにしておくと、リチウム電池が完全に放電してしまい、寿命が短くなることがあります。電池の破損を防ぐため、使用しないときは完全に電源を切ってください。バッテリーの健康状態を維持するため、少なくとも2カ月に1回はフル充電してください。

バッテリーを長持ちさせるために、以下の3点を参考にしてください：

※使用しないときは、フル充電にして電源を切り、2カ月に1回はフル充電してください。

※長時間電源を切った場合、バッテリー保護のため、初回充電に2～3時間かかります。

※直射日光のあたる場所や、日光のあたる車内に置かないでください。

1.5 スマートフォンとのペアリング

ATMOSアプリを使用して、ダイビング等のアクティビティのログ、その他の時計データを同期します。

デバイスの互換性：一部のデバイスは互換性がない場合があります。(現在互換性に問題がある可能性の機種はHuawei/ Oppo/ Vivo/ Xiaomi)

ATMOSアプリのダウンロード

iOS https://apple.co/31ouXTE	
Android http://bit.ly/2WafdNL	

※ お知らせ：アプリのバージョンは、お使いの携帯電話やソフトウェアのバージョンによって異なります。

デバイスのペアリング

1) MISSION2:

- a) 設定 → スマート接続 → 携帯のペアリングを選択します。
- b) iOSまたはANDROIDを選択してください。

2) 携帯電話 / ATMOSアプリ

- a) 携帯電話のBluetooth接続が有効になっていることを確認します。
- b) ATMOSアプリを開いてください。初めて使用する場合、新しいユーザーアカウントを作成します。
- c) プロフィール → デバイスを追加 → 新しいデバイスをペアリングするを選択します。
- d) 検出されたデバイスの一覧からMISSION2を選択します。
MISSION2に表示されている5桁のPINコードを入力し、接続を完了します。

※お知らせ: ペアリング後、デバイスが接続されない場合、携帯電話とMISSION2を再起動してください。

携帯電話とMISSION2を再起動し、ペアリングを解除した後、再度ペアリングを行ってください。

クイックヒント: すべてのデバイスのペアリング画面は、ATMOSアプリの概要画面の左上にあるデバイスアイコンからアクセスすることもできます。

デバイスのペアリングを解除する

1) MISSION2:

- a) 設定 → 接続 → ペアリング解除を選択し
「ペアリング解除」を選択します。

2) ATMOSアプリ:

- a) 「すべての機器」画面から、解除する「MISSION2」を左にスワイプし「デバイスを解除する」にします。または解除するデバイスを選択し画面下部の「デバイスを解除する」アイコンを選択します。

3) 携帯電話

- a) Bluetoothデバイスにアクセス → MISSION2を選択
→ デバイスを解除

※ クイックヒント: ウォッチモードでボタンAを長押しするとを長押しすると、Bluetooth接続のオン/オフが切り替わります。

1.6 スマート通知

スマート通知機能は、MISSION2 に以下を表示させる機能です。



ペアリングしたスマートフォン (iOS 10以上、Android) で受信したSMSのメッセージや電話通知を表示します。

通知を有効にする

- 1) 「設定」→「接続」→「通知」を選択します。
- 2) 受信する通知の種類を選択します (全ての通知/電話着信のみ/オフ)

受信した通知を表示する。

- 1) ウォッチモードでAボタンを押し、通知を表示します。
- 2) A または C ボタンを押し、既存の通知を上下にスクロールします。
- 2) A または C ボタンを押し、既存の通知を上下にスクロールします。
- 3) ボタン B を押し、メッセージを選択します。

※お知らせ: MISSION2 を再起動すると、すべての通知が消去されます。

※電話着信のみ設定した場合、MISSION2は電話着信とSMSメッセージのみを表示し、他のアプリのプッシュメッセージは表示されません。

1.7 ファームウェアの更新

ATMOSは新機能、バグ修正、その他の改善を含む新しいファームウェアを定期的にリリースしています。これらのアイテムを利用するために、MISSION2のファームウェアを常にアップデートしてください。ファームウェアの更新には、PCとのUSB接続が必要です。

ファームウェアのバージョンを確認する。

- 1) 設定 → システム → 端末情報を選択します。モデル、シリアル番号とファームウェアのバージョンが表示されます。

ファームウェアの更新

- 1) PCを使って、ATMOSのウェブサイトアクセスします。

<https://www.atmos.App/>、最新のMISSION2ファームウェアをダウンロードします (サポート > ファームウェアアップデート)。

- 2) MISSION2をファームウェアアップデートモードにします。設定 → 更新 → アップデート
- 3) USB 充電ケーブルを使用して、MISSION2 を PC に接続します。MISSION2が新しいUSBドライブとして検出されます。
- 4) ダウンロードしたファームウェアのzipファイルを開き、ファームウェアアップデートの.binファイルをMISSION2のFIRMWAREフォルダにドラッグ (またはコピー) してください。

5) .bin ファイルが FIRMWARE フォルダにコピーされたら、MISSION2 の充電ケーブルを取り外します。MISSION2 は自動的にアップデート処理を開始します。

処理が完了してから、再度 MISSION2 をお使いください。

※ お知らせ:MISSION2がPCに認識されない場合、以下のことを確認してください。

充電ケーブルが完全に正しく接続されていることを確認してください。

充電ケーブルの4本のピンは、それぞれデバイスに接触している必要があります。

1.8 タイムフェイスの変更とカスタマイズ

MISSION2には、クラシックアナログ、デジタルなど、様々なカスタムタイムフェイスのオプションがあります。

1.8.1 時計の文字盤を変更する

MISSION2でタイムフェイスを変更する

1) 設定→タイムフェイスを選択します。

2) AボタンまたはCボタンを押して、タイムフェイスのスタイルを上下にスクロールします。

3) Bボタンを押し、希望のフェイスを選択します。

ATMOSアプリでタイムフェイスを変更する

1) MISSION2とペアリングした状態で、ATMOSアプリの「すべての機器」画面に移動し、MISSION2を選択します。

2) オプションのリストから希望のタイムフェイススタイルを選択します。

3) 「実行として設定」を選択します。

1.8.2 写真でタイムフェイスをカスタマイズする

1) ATMOSアプリ(MISSION2とペアリングしている状態)「すべての機器」画面を表示し、MISSION2を選択します。

2) 「あなたのデバイス」オプションのリストから「タイムフェイス」を選択します。

3) フォトタイムフェイスのスタイルを1つ選択します(例: フォトクラシックアナログ、フォトクラシックデジタル)。

4) 「背景写真」セクションで、「写真を選択」を選択します

5) 希望する個人写真を参照し、選択します。必要に応じて、MISSION2が自動的に画像を縮小します。

1.9 画面保護と紛失防止

MISSION2は、通常の日常的な使用やスポーツ活動に耐えることができる頑丈なデバイスです。しかし、落下や強い衝撃を与えると、故障や画面割れの原因となることがあります。付属の画面保護シールのご使用をお勧めします。

お知らせ:ご購入時のMISSION2には画面保護シールは貼られておりません。(2枚標準装備)

追加の画面保護が必要な場合は、ATMOS正規販売店にて追加購入できます。

さらに画面を保護するために、エントリー・エキジット時は、時計の文字盤が体の内側を向くようにすることをお勧めします。他ダイビングギアからのダメージを防ぐことができます。

MISSION2のストラップは経年変化により、磨耗や破損が生じることがあります。ストラップに破損があった場合は、速やかに交換してください。

携帯ストラップやテザーを使って、MISSION2をさらに固定することができます。

2. ウィジェット

- MISSION2には、スポーツや健康に関連する様々なウィジェットが用意されています。
- 心拍数計測
- 現在の心拍数と傾向を表示します。
- 睡眠モニタリング
- 睡眠の質に関するデータを表示します。
- 歩数・カロリー
- 歩数、消費カロリーのデータを表示します。

アウトドア

- コンパス、日の出・日の入り時刻、高度情報を表示します。
- 潮汐
- 潮汐情報(ローカルまたはカスタム)を表示します。
- 天気
- ローカル気象データを表示します。
- 最後のダイビング
- 直近のダイビングのデータを表示します。
- アクティビティ
- 活動時間に関する情報を表示します。

ウィジェットを有効にする

1) 設定→ウィジェット→目的のウィジェットを選択します。→オンにします。

Widget 情報を見る:

1) 時計のメイン画面で、ボタン C を押して、有効なウィジェットをスクロールします。

お知らせ: 潮汐や天気など一部のウィジェットでは、更新のために ATMOS アプリとの接続が必要です。

2.1 心拍数の測定

※ MISSION2の光学式心拍センサーは、デバイスに搭載された LED 光学センサーで心拍数を計測します。

センサーが検出するのは心拍に対応する血管の血流の変化を検出します。心拍機能を使用すると、電池寿命に影響を与える場合があります。

お知らせ: MISSION2は医療用機器ではありません。心拍数データは医療診断のための参考値として使用しないでください。

心拍数を有効にする

1) 設定→ウィジェット→心拍数を選択します。→オンにします。

心拍数を確認する

1) 時計のメイン画面で、ボタン C を押して心拍数ウィジェット情報までスクロールします。

※ 心拍数の正確性を確保するために、MISSION2 はぴったりと装着し、センサーの光線の偏った反射を避けるために手首の関節に装着しないでください。

※ 心拍数ウィジェットを使用する場合、長袖の衣服や冬服などの上に時計を着用することは推奨されません。

※ 水中での光の波長吸収により、心拍数が大きく変化することがあり、その場合、光検出にも影響があります。そのため、ダイビングや水泳の際には、この機能は初期設定で無効になっています。これらのモードの設定により、機能を有効にすることができます。

心拍測定値異常の原因

- 心拍センサーは常に清潔に保ってください。
- 日焼け止めや化粧水などを塗ると、光の反射にムラができる場合があります。
- 腕毛、タトゥー、肌の色、腕の動き、皮下血流などが心拍数の計測に影響することがあります。
- 寒いと血液の循環が悪くなり、測定値に影響を与えることがあります。手足を温めると、心拍の発生が良くなります。

- 血液循環の悪い方は、測定値が安定しない場合があります。
- MISSION2背面の心拍センサーに傷をつけないようにご注意ください。
- 心拍センサーは常に清潔に保ってください。

お知らせ:

※ MISSION2は医療機器ではありませんので、心拍機能データを医療診断の参考とすることはできません。疑問がある場合は、専門の医師の助言を得て、慎重な検査を行う必要があります。

※ 心拍機能をオンにした場合、消費電力が増加します。

2.2 睡眠モニタリング

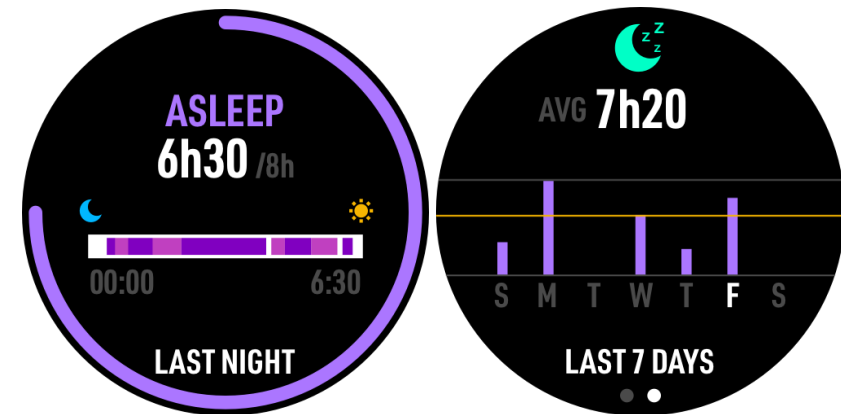
睡眠モニタリングウィジェットは、夜間の睡眠にのみ使用できます。昼寝やその他の短時間の睡眠は、正確に監視できません。

睡眠モニタリングウィジェットを有効にする

- 1) 設定 → ウィジェット → 睡眠記録: オンにします。
- 2) 希望する睡眠の開始と終了の時刻を設定します。

睡眠モニターを表示する:

- 1) 時計のメイン画面で、Cボタンを押し、睡眠モニタリングウィジェットにスクロールします。
- 2) 睡眠モニタリング画面で、ボタンBを押して、週間睡眠データを表示します。



※暗い:深い眠り | 明るい:浅い眠り

外側の帯は、目標に対する実際の睡眠時間を示しています。目標とする睡眠がとれていれば、完全な円となります。

お知らせ:MISSION2の睡眠監視アルゴリズムは、設定された睡眠時間中のデバイスの動きに基づいています。設定された期間中にデバイスが装着されていない場合その動きがないことを

「睡眠」時間と見なします。

クイックヒント: 夜間の睡眠の質を高めるために、オートバックライト起動を一時的に無効化することをお勧めします。動作によってバックライトライトが点灯し、睡眠の妨げになる可能性があります。

2.3 歩数・カロリー

MISSION2 は、毎日の歩数をカウントし、消費カロリーを計算します。

歩数とカロリーを有効にする

- 1) 設定 → ウィジェット → 歩数とカロリー → オンにします。
- 2) 目標とする歩数とカロリーを入力します。

歩数とカロリーを表示する

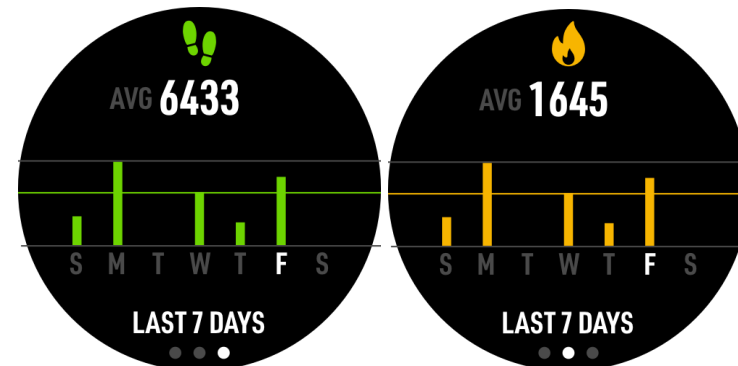
- 1) 時計画面でCボタンを押し、歩数とカロリーのウィジェットにスクロールします。



上の図では、オレンジ色の外側の円が歩数カウンターで、黄色の内側の円が消費カロリーを表しています。

歩数の増加と消費カロリーの増加により、徐々に円を形成していきます。設定した目標値に到達すると、完全な円になります。

- 2) 歩数とカロリー画面でBボタンを押すと、1週間のカロリーおよび歩数の平均値が表示されます。目標値は中央に表示されます。



※ 歩行後、歩数計はすぐに歩数を更新せず少し遅れて表示します。

※ **お知らせ**: 歩数の異常は、振動や歩行中の規則的な腕の動きによって生じることがあります。

目標歩数・カロリーの設定

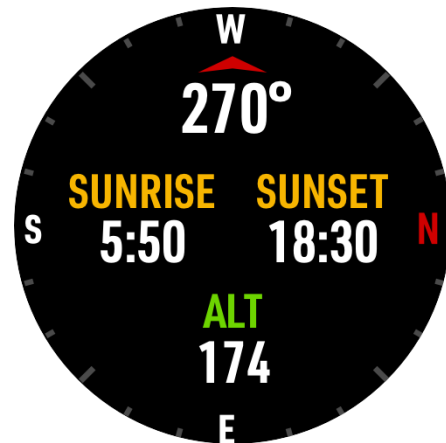
設定 > ウィジェット > 歩数とカロリー 目標とする歩数とカロリーを入力することができます。

2.4 アウトドア

1) 設定 → ウィジェット → アウトドア → オンにします。

2.4.1 日の出と日の入りの時間

日の出と日の入りの時刻は、GPS信号が正常に捕捉された場合のみ表示されます。



2.4.2 高度の校正

高気圧や低気圧などの天候の変化は、高度や気圧の読み取りに影響します。天候が頻繁に変化する場合は、正しい高度の基準値がわかっている場合は設定することをお勧めします。天候が安定している場合は、基準値の設定は必要ありません。

アウトドアウィジェット画面で、ボタン B を押して高度校正オプションを表示します。

GPS高度校正を利用する

GPS測位時に高度データを受信します。高度に大きなズレや偏りがある場合、このオプションを使用してGPS校正高度を設定します。

現在の高度校正を使用する

高度に大きなズレや偏りがある場合は、その場所の既知高度を入力します。登山口に表示されている高度など、その場所の既知の高度を基準値として入力し、現在の高度を校正します。

2.4.3 コンパス

※ MISSION2 のコンパスは磁気を帯びており、近くの電界、磁石、金属物から干渉を受けることがあります。他のコンピュータやコンパス、金属製のものをMISSION2の近くに置かないようにしてください。

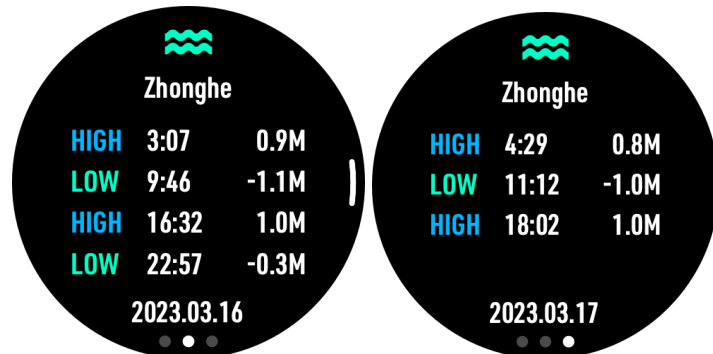
い。最高の性能を発揮するために、毎回のダイビングの前にキャリブレーションを行うことをお勧めします。

コンパスの校正

コンパスの校正が必要な場合、MISSION2は自動的に無限大の「∞」パターンを表示します。同じパターンでデバイスを動かすと、コンパスのキャリブレーションができます。キャリブレーションが完了すると、コンパスの方位と"OK"が表示されます。

2.5 潮汐

※ 潮汐情報は一般的な参照用としてのみ提供されます。実際の潮位は、気圧、風向き、雨などの気象条件によって大きく影響される場合があります。ユーザーは、各ダイビングポイントで現地の状況を判断し、慎重な判断が必要です。自分の能力や現地の状況を正しく判断せずに潜ると、怪我をしたり、死亡したりすることがあります。



潮汐ウィジェットを有効にする:

1) 携帯電話 / ATMOSアプリ:

- 携帯電話のGPSがオンになっており、ATMOSアプリが位置情報を取得する許可を持っていることを確認します。
- ATMOSアプリを開き、MISSION2に接続します。
- アプリの「デバイス」画面で、「潮汐」を選択します。
- 携帯電話のGPSで取得した現在地を使用するか、新しい場所を追加する(+)ことができます。

2) MISSION2:

- 設定→ウィジェット→潮汐を選択します。→オン
- 時計画面から、ボタンCを押して潮汐ウィジェットにスクロールします。

2.6 天気情報

MISSION2がATMOSアプリに接続されている場合、現在地の天気情報を取得することができます。

天気予報ウィジェットを有効化/表示する:



1) MISSION2:

- a) 設定 → ウィジェット → 天気: → オン
- b) 時計の画面から、ボタンCを押して天気ウィジェットにスクロールします。

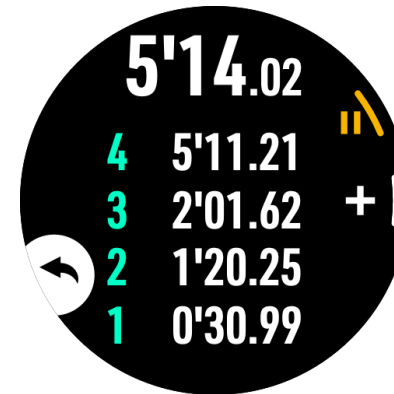
お知らせ: デバイスがATMOSアプリとペアリングされ、同期されるまで、天気データは表示されません。

2) 携帯電話/ATMOSアプリ

- a) 携帯電話のGPSがオンになっており、ATMOSアプリが位置情報の取得を許可していることを確認します。
- b) ATMOSアプリを開き、MISSION2をペアリングします。
- c) アプリの デバイス 画面で、天気を選択し、天気情報をMISSION2に同期させます。

2.7 ストップウォッチ

時計画面でボタンCを長押しするとストップウォッチ画面になります。



- ボタンAを押す: スタート
- ボタンBを押す: ラップを記録
(4つまで記録)
- ボタンAを押す: ストップ
- ストップ後、ボタンAを押すとOIに戻る
- ストップ後、ボタンDを押すと時計に戻る

2.8 目覚まし時計

MISSION2には、3つの時間の目覚まし時計が用意されています。

- 1) 設定 → 目覚まし時計 を選択します。
- 2) 目覚まし時刻を設定します。

3. ダイブモード

3.1 水圧感知オートオン

MISSION2のダイブモード・オートオン機能は、自動的にダイビングアクティビティーを開始し、ディスプレイをデフォルトのダイブモード画面に変更します。

お知らせ:オートオンは、最初の潜降時の圧力の変化に基づいており、単に水感知ではありません。オートオンを有効にした場合でも、潜降の前にダイビングの設定を確認し、ダイビングが適切に開始されるようにすることが最善措置です。

ダイブモード起動深度: 1.2m

オートオンのデフォルトのダイビングモードは「スクーバ」です。デフォルトのモードはMISSION2の設定で変更することができます。設定されたデフォルトは、時計モードでは画面下部のアイコンで表示されます。デフォルトのダイブモードがオフに設定されている場合、またはウォッチフェイス設定(ATMOSアプリ)でダイブモードのアイコン表示を無効にして



いる場合、画面上にアイコンは表示されません。

3.2 飛行機搭乗禁止時間と水面休息时间

左上。飛行機搭乗禁止アイコン(赤い飛行機のアイコンに斜めのスラッシュ)。このアイコンは、最後のダイビング終了から24時間表示されます。フリーダイビングの場合、フリーダイビングが40mを超えると飛行機搭乗禁止のアイコンが表示されます。



画面右上: 水面休息时间(SI)アイコン

水面休息时间カウンターは、ダイビングが終了した時点からスタートします

一般的なダイビングのガイダンスでは、体内残留窒素を考慮し、300m以上の高度に飛行機などで上昇する場合は、最後のダイビングから24時間待つことが推奨されています。MISSION2はこのガ

イダンスを採用しています。しかし、実際のダイビングプロフィール（例：1回の潜水と反復潜水、水深が浅い潜水と深い潜水）は、実際に必要な水面休息時間に影響する場合があります。24時間以内のフライトや、短時間に大量のダイビングを行った場合は、医療機関にご相談ください。

3.3 スクーバモード

3.3.1 スクーバ準備画面と操作方法

1) 時計のメイン画面からボタン B を押し、タイプモードを選択することで Ready モードに入ります。

GPS 位置を取得するまでは、GPS アイコンが点滅します。信号取得後、アイコンは緑色に変わります。場所や障害物の量によって、信号の取得に数秒かかる場合があります。

2) C ボタンを押し、ダイビングモードの設定に入ります。ベストプラクティスとして、ガスの種類、PPo₂、セーフティーファクタなどの重要なダイビング設定は、毎回のダイビング前に確認することをお勧めします。水中モードでは、リストHR(心拍数)はデフォルトで無効になっています。しかし、アクティビティ開始前に有効にすることができます。



3) B ボタンを押し、アクティビティを開始します。

3.3.2 スクーバ設定

スクーバ準備完了画面で、C ボタンを押し、設定モードに入ります。

警告!

変更した場合の影響を理解しない限り、設定を変更しないでください。酸素分圧(PPo₂)やグラディエントファクター-Conservatism Gradient Factor(GF)などの項目を変更すると、減圧計算に影響を与え、安全に影響を与える可能性があります。毎回のダイビング前に必ずAir/Nitroxの割合と最大酸素限界水深(MOD)を確認してください。設定が正しくない場合、中枢神経系(CNS)酸素中毒の危険性が高まります。最大酸素限界深度(MOD)を超えないようにしてください。

調整可能な機能:

ダイブプラン	ダイブプラン機能は、将来の特定の時間に、計画した深度で潜水する際の無減圧限界(NDL)を推定するために使用されます 3.2.5 ダイブプラン参照
アラーム(ダイビング)	タイムアラーム: 設定した潜水時間に達すると、タイムアラーム表示でダイバーに通知します。(1セツ

	<p>ト)</p> <p>残圧計 (SPG) 確認アラーム: 設定した時間が経過すると、残圧計 (SPG) の空気圧をチェックするようアラームでお知らせします。(10セット)</p> <p>深度アラーム: 設定した水深に到達すると、水深アラームでお知らせします。(1セット)</p>
残圧計 (SPG) 確認アラーム	残圧計 (SPG) 確認アラーム: 設定した時間が経過すると、残圧計 (SPG) の空気圧をチェックするようアラームでお知らせします。(10セット)
PPo2 酸素分圧	PPo2 酸素分圧: 1.2~1.6で調整可能(デフォルト: 1.4)。この設定は最大酸素限界水深(MOD)に影響します。
セイフティーファクタ	<p>SF2 (GF 35/75)</p> <p>SF1 (GF 40/85)</p> <p>SF0 (GF 45/95)</p> <p>カスタム (GFを調整可能 - デフォルト40/85)</p>

	注: カスタム機能は、設定要素を十分に理解しているベテランダイバー向けです。
ダイビングポイント	4.1.2 ダイビングポイント参照
安全停止	<p>オン/オフ</p> <p>希望する安全停止時間の長さを設定します(デフォルト-3分)。</p>
SI(水面休息时间)リマインダー	<p>オン/オフ。</p> <p>水面休息時間のリマインダーを設定します。</p> <p>設定した水面休息時間に達すると通知します。</p>
水の種類	<p>淡水/海水による深度圧力補正。</p> <p>海水の密度は淡水より約3%高いので、同じ圧力値であれば、淡水の方が約3フィート(約90cm)深くなります。</p>
エアー/ナイト	エアー/ナイトロックス

ロック設定	AIR:21% ナイトロックス:22~40%調整可能。
シリンダー容量	シリンダー容量と初期シリンダー圧力(bar/psi)を設定します。ダイビング終了時に残圧を入力する画面が表示されます。 入力された値は、水面空気消費量(SAC)レートを決定するために使用されます。 お知らせ:容量と開始/終了圧力は、ダイビング後にATMOSアプリを使用して入力することもできます。
リストHR / 光学式心拍数	ダイビングモードでは、心拍数はデフォルトで無効になっていますが、必要に応じて有効にすることができます。
バックライト	バックライトの状態(常時点灯)、輝度レベル、リストアクティベーションを調整します。
窒素リセット	コンピューターに蓄積された残留窒素をゼロにリ

	セットします。 警告:NDLとDECOの要件に対応する効果を十分に理解しない限り、この設定をリセットしないでください。
設定リセット	アクティビティモードの設定を工場出荷時の設定に戻します。

3.3.3 スクーバスクリーンレイアウトとアラーム

プレダイブ	
<p>左上: コンパスの方位 (コンパスの校正が必要な場合は、無限大のマークが表示されます。)</p> <p>左中段: 温度</p> <p>右上: NDL (No Decompression Limit: 無減圧潜水限界)</p>	<p>The image shows a circular dive computer screen with the following data points: GPS 270°, NDL 99+, MOD 56, HR 67, AIR 21%, and a depth of 0m. The screen also features a battery level indicator at the top.</p>

<p>(NDLが99分以上の場合、99+と表示されます。)</p> <p>右中段: 現在水深</p> <p>左下: MOD-(最大潜水深度)</p> <p>右下: 心拍数(HR) ※有効な場合。</p> <p>下段: ガスの種類</p> <p>21% = 空気 / 22-40% = ナイト ロックス</p>		<p>お知らせ: ボタンCを押すと、次のフィールドがスクロールします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大深度 ・平均深度 ・TTS(総浮上時間) ・心拍数(有効な場合) <p>下段: ガスの種類</p> <p>21% = 空気 / 22-40% = ナイト ロックス</p> <p>ボタンE: バックライトのオン/オフ</p>	
ダイビング中		マークコンパス方位	
<p>左上 コンパス方位</p> <p>左: 上昇率バー(m/ft)</p> <p>左: 浮上速度</p> <p>右上: NDL(No Decompression Limit: 無減圧潜水限界)</p> <p>右中: 現在水深</p> <p>下段: 潜水時間</p>			



<p>ダイビング中にボタンBを押して方位マーク画面にアクセスします。</p> <p>ボタンBを押して、方位をマークするを押します。</p> <p>ボタンAを押すと、マークが解除されます。</p>		<p>浮上速度が12m/min(約40ft/min)を超えると、浮上速度バーが赤く点灯します。その状態が5秒以上続くと、MISSION2は "SLOW DOWN" の浮上アラームでダイバーに知らせます。</p>	
コンパス方位を表示する		潜水時間警告(時間アラーム)	
<p>マークされた方位は、画面上に緑色のポインターで表示されます。</p> <p>ボタンAを押して、ダイブナビゲーションの表示と非表示に切り替えることができます。</p>		<p>ダイバーが設定した潜水時間に達すると、時間アラームを通知します。</p>	
浮上速度警告(浮上アラーム)		深度警告(深度アラーム)	


<p>設定した最大水深に達すると、深度アラームを通知します。</p>	
<p>低バッテリー</p>	
<p>MISSION2の電池残量が15%以下になると、低バッテリーでダイバーに通知します。</p>	
<p>安全停止</p>	

<p>安全停止深度に達したことを通知します。デフォルトの3分間の安全停止は、ダイバーが6m(約20フィート)まで上昇すると3分間のカウントダウンが始まります。水深が3~7mの間は、安全停止のカウントダウンが継続されます。</p> <p>安全停止はオン/オフが可能で、個人のニーズやダイビングプランに応じて設定することができます。</p>	
<p>安全停止中断</p>	

<p>安全停止は、水深が安全停止範囲(3~7m)外になったことをダイバーに知らせます。</p> <p>安全停止カウントダウンは、深度範囲に入ると継続されます。</p> <p>また、12mまで潜降すると安全停止は解除されます。</p>		<p>NDL警告は、残りのNDL時間が3分未満であることを通知します。</p>	
<p>安全停止終了</p>		<p>減圧停止</p>	
<p>安全停止終了は、安全停止が完了したことをダイバーに知らせます。</p>		<p>NDLを超えると、減圧停止が必要になります。その場合、MISSION2は「減圧停止」警告を表示します。NDLの表示が"DECO"に変わり、減圧停止深度が表示されます。</p> <p>右の例(15m1')では、15mで1分間の減圧停止が必要です。</p> <p>減圧停止が必要な場合は、指定された深度までゆっくりと安全に浮上してください。浮上することは減圧の必要性に影響するた</p>	
<p>NDL警告</p>			

<p>め、指定された深度に到達する前に減圧停止指示が解除される場合もあります。</p>	
<p>停止深度違反</p>	
<p>MISSED STOP(停止深度違反)は、ダイバーが減圧停止指示深度上限を超えて浮上したときに表示されます。</p> <p>警告!</p> <p>MISSED STOP(停止深度違反)が表示された場合は、減圧停止指示深度以下に安全に潜降し、必要な減圧を続けてください。</p>	
<p>最大潜水可能深度 (MOD)</p>	

<p>MOD ALARM(MOD警告)は、ダイバーが現在の酸素分圧設定に基づく最大潜水可能深度を超えたときに表示されます。</p> <p>警告!</p> <p>MOD ALARM(MOD警告)が表示されたら、酸素中毒の合併症を避けるために、直ちに安全な深さまで浮上してください。</p>	
<p>中枢神経系(CNS)の酸素毒性</p>	
<p>計算された中枢神経系毒性負荷率が85%を超えると、CNS ALARM(CNS警告)が表示されます。</p> <p>警告!</p> <p>CNS ALARM(CNS警告)が表示されたら、酸素中毒の合併症を避けるため、直ちに安全な深さまで浮上してください!</p>	

総浮上時間(TTS)	
<p>ダイビングモード中にボタンCを押すと、総浮上時間TTS(分単位)を確認することができます。</p> <p>総浮上時間TTSは、安全に浮上するまでの時間を計算したもので、以下の要素に基づいています。</p> <p>* 想定される浮上速度 10m/分(33ft/分)</p> <p>*MISSION2によって算出される減圧停止を含みます。</p> <p>*安全停止時間は含まれません。</p>	
チェックSPGアラーム(残圧計確認)	

チェックSPGアラームの時間間隔を設定し、その時間に到達するとCHECK SPGが表示されます。

アラームは、1本のダイビングで最大10個まで設定可能です。

チェックSPG機能は、単に残圧を確認するためのものであり、安全なダイビング慣行に従って残圧を頻繁に監視する代わりに使用するものではありません。



3.3.4 スクーバログ

スクーバダイビングのログは、「設定」→「ログ」→「ダイブモード」で確認できます。

グラフ:

ボタンBを押すと、時間軸が表示されます。

ボタンAまたはCを押すと、時間軸が進みます。

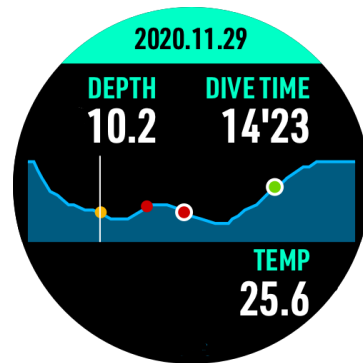
ログに記録されたマーク:

緑色マーク:安全停止

赤色マーク:浮上速度警告

赤色マーク(白い縁取り):減圧停止

黄色マーク:深度警告

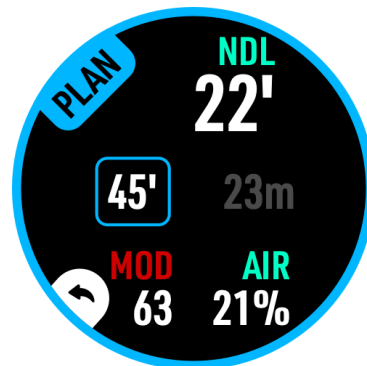


3.3.5 ダイブプラン

MISSION2のダイブプラン機能は、次のダイビングのNDL(無限圧潜水可能時間)を推定するために使用します。

ダイブプランを立てる

1) スクーバ準備画面でボタンCを押し、設定にアクセスします。



2) プラン(PPLAN)を選択します。

3) ボタンAまたはCを押して、選択した値を増減させます。

4) ボタンBを押して、深度及び水面休息時間を切り替えます。

例) 45分の水面休息後、23mまで潜る予定であれば、22分のNDLとなります。

3.3.6 高度

MISSION2は、現在地の気圧を自動感知し、気圧の値に応じて深度値を校正します。

3.4 フリーダイビングモード

フリーダイビングのモードは2種類。フリーダイビング(デプスモード)、プールフリー(ダイナミックアプネアモード)です。

警告!

スクーバやゲージモードでのダイビングをした場合は、24時間の飛行禁止時間が経過するまでフリーダイビングをしないでください。この時間は、残留窒素が体内から排出されるのを確認するのに役立ちます。

3.4.1 フリーダイビング準備画面と操作方法

デプスモード	ダイナミックアプネアモード
<div data-bbox="210 405 573 767" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="163 810 286 842">操作方法</p> <p data-bbox="163 863 622 1043">1) 時計のメイン画面から、ボタン B を押し、アクティビティメニューに入ります。ボタン B を押し、フリーダイビングを選択します。</p> <p data-bbox="163 1064 622 1299">GPS アイコンは GPS 位置が取得されるまで点滅します。信号取得後、アイコンは緑に変わります。場所や障害物の量によって、信号のロックに数秒かかる場合があります。</p> <p data-bbox="163 1319 622 1401">2) Cボタンを押し、設定モードに入ります。ベストプラクティスとして、毎回</p>	<div data-bbox="689 405 1061 767" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="689 810 1061 1182" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="647 1224 1104 1294">各ダイブの前にプールの長さを設定/確認します。</p>

のダイビング前に設定を確認することをお勧めします。

3) ボタンBを押してフリーダイビングを開始します。

3.4.2 フリーダイビングの設定

フリーダイビング準備完了画面で、Cボタンを押し、設定に入ります。

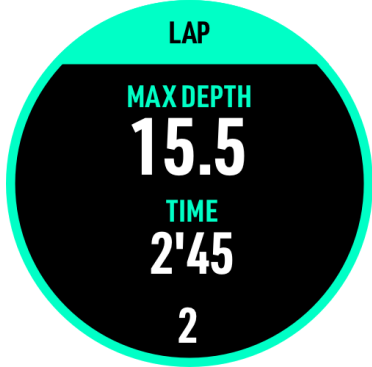
調整可能な機能:

深度アラーム	設定した水深に達すると、ダイバーに深度アラームが通知されます。(10セット)
浮上アラーム	設定した深度に浮上すると、ダイバーに浮上アラームが通知されます。(10セット)
時間アラーム	設定した潜水時間に達すると、ダイバーに時間アラームが通知されます。(10セット)
SI(水面休息)	デフォルト(潜水時間x2)、カスタム、オフ

リマインダー	水面休息時間がリマインダー時間に達すると、「水面休息終了」リマインダーが表示されます。
ダイビングポイント	4.1.2 ダイビングポイント 参照
水のタイプ	淡水/海水による深度補正について 塩水は淡水より3%程度密度が高く、同じ圧力値であれば淡水の方が深度が深くなります。
手首の心拍数/光学式心拍計	ダイビングモード中の心拍計機能は初期設定では無効になっていますが、個人のニーズに応じて有効にすることができます。
バックライト	バックライトの状態(常時オン)、輝度レベル、手首との連動を調整します。
リセット設定	アクティビティモードの設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

3.4.3 フリーダイビング画面レイアウトとアラーム

デプスモード	
<p>右上: ストップウォッチ</p> <p>中央右: 現在水深</p> <p>左: 温度</p> <p>右下: 水面休息時間</p>	
潜水中	
<p>右上: ストップウォッチ(ボタンA: スタート/リセット)</p> <p>中央右: 現在水深</p> <p>右下: 潜水時間</p> <p>左上: 潜水回数</p> <p>左: 温度</p>	

ボタン E: バックライトのオン/オフ 切り替え	
潜水後	
水面に戻った後、最大深度、潜水 時間、潜水回数が表示されます。	
水面休息中	

左上: 現在の連続潜水回数

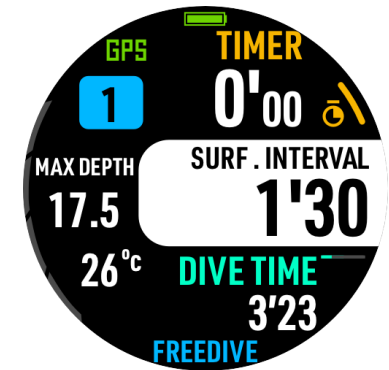
左: 温度

右上: ストップウォッチタイマー

中右: 水面休息時間

右下: ボタン C を押して、最大時
間、最大深度、心拍数、時刻、コ
ンパス方位をスクロールします。

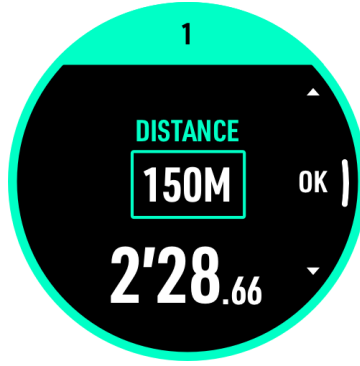

ボタン D を押して設定を行い、保
存して終了します。



ダイナミックアプネアモード

潜水前

<p>上:心拍数 中:セット 潜水時間 中:水面休息时间 下:バッテリーの状態と時刻 Aボタンを押してスタート</p>	
<p>潜水中</p>	
<p>Aボタンを押して終了</p>	
<p>ダイナミックアプネア終了</p>	

<p>距離を入力</p>	
<p>水面休息中</p>	
<p>水面休息 (SI) 時間は累積し続けます。 青いフレームの数値は、ダイナミックアプネアの数に応じて増加します。</p>	

3.4.4 S.I.(水面休息) リマインダー

デフォルト設定:

- 水深 30 メートル以内: (S.I.) アラート時間は潜水時間の 2 倍です。
- 30 メートルを超える深度、(S.I.) アラート時間は、潜水深度を 5 (分) で割った値です。

3.5 ゲージモード

ゲージモードは、水深計と水中タイマーの機能で深度、時間、温度、浮上率のみを表示します。

警告: !

減圧計算はゲージモードでは実行されません。ダイバーの安全を促進するため、最後のゲージモードでのダイビングから 24 時間はスクーバモードがロックされます。ユーザーの判断で、スクーバ準備画面> 設定> 窒素リセットでダイブモードのロックを解除できます。ゲージダイブ後 24 時間以内に実行されたダイブモードでは、以前のゲージダイブから蓄積された窒素は考慮されないことに注意してください。

3.5.1 ゲージ準備画面と操作

1) 本体のメイン画面から、ボタン B を押してアクティビティメニューに入り、アクティビティの種類を選択します。



GPS 位置が取得されるまで、GPS アイコンが点滅します。障害物の位置と量によっては、信号の取得に数秒かかる場合があります。

2) ボタン C を押して、設定モードに入ります。ベストプラクティスとして、各ダイビングの前に設定を確認することをお勧めします。水関連のモードでは、手首の心拍数 (心拍数) はデフォルトで無効になっています。ただし、アクティビティの開始前に有効にすることはできます。

3) ボタン B を押してアクティビティを開始します。

3.5.2 ゲージ設定

ゲージ準備完了画面で、ボタン C を押して設定モードに入ります。

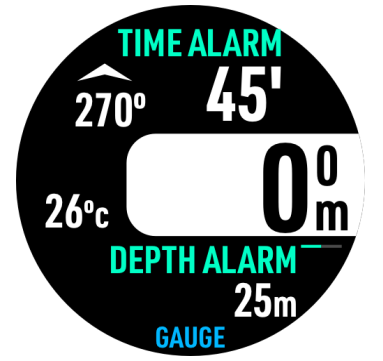
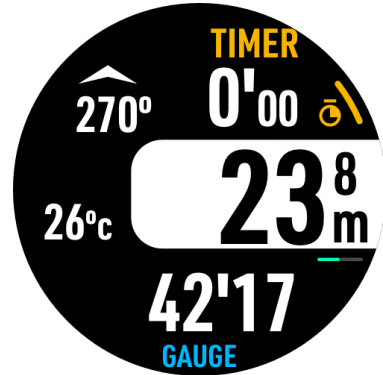
調節可能な機能:

ダイブアラーム	時間アラーム: ダイバーが設定した潜水時間に達すると、時間アラームを通知します。(1セット)
	深度アラーム: 設定した最大水深に達すると、深度アラームを通知します。(1セット)
ダイビングポイント	4.1.2 ダイビングポイント参照

水のタイプ	淡水/海水に基づく深度補正。 塩水の密度は淡水の密度よりも約 3% 高く、淡水の深さは同じ圧力値でより深くなります。
手首の心拍数/ 光学式心拍計	ダイビングモード中の心拍計機能は初期設定では無効になっていますが、個人のニーズに応じて有効にすることができます。
バックライト	バックライトの状態(常時オン)、輝度レベル、手首との連動を調整します。
リセット設定	アクティビティモードの設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

3.5.3 ゲージ画面レイアウトとアラーム

潜水前

<p>左上:コンパス方位 左中:温度 右上:時間ラームのユーザー設定 中央右:現在水深 右下:深度アラームのユーザー設定</p>	
潜水中	
<p>右上 : ストップウォッチ(ボタンA:スタート/リセット) 中央右 : 現在水深 右下 : 潜水時間 左上 : コンパス 左中 : 温度 ボタン E: バックライトのオン/オフ切り替え</p>	

4. GPS

MISSION2 の防水ケースとコンパクトなサイズがアンテナ強度を制限するため、GPS 機能は屋外エリアに最も適しています。

GPS 信号の取得と測位に影響を与える要因:

GPS 測位は電磁波によって行われます。障害物があると受信に影響が生じ、測位が保証されません。

以下は一般的な GPS 障害です。

※高層ビル: 高層ビルのセメント壁や両側に路地があると、電波が弱くなることがあります。

* 林道: 密集した葉や枝が障害物となり、GPS 電磁波の透過が減少します。

* 高電圧/アンテナ塔: 高電圧または無線アンテナ塔によって生じる異なる周波数の電磁波は、GPS 信号の受信に干渉する可能性があります。

* 曇りの日と大気汚染: 厚い雲、雲の中の水蒸気、および大気汚染の成分は、GPS 信号の受信に影響を与える可能性があります。

4.1 ダイビングGPS

GPS 信号の取得

1. MISSION2 が遮るもののない空が見える開けた場所にあることを確認します。ウォッチフェイスが空に向けられていることを確認してください。場所によっては、信号を取得するのに 5 ~ 8 分かかる場合があります。

または、

2. 任意のダイビング アクティビティモードに切り替える → ボタン C を押して、設定 → ダイビング ポイント → 近くのポイントに移動し、GPS が取得されるのを待ちます。

または、

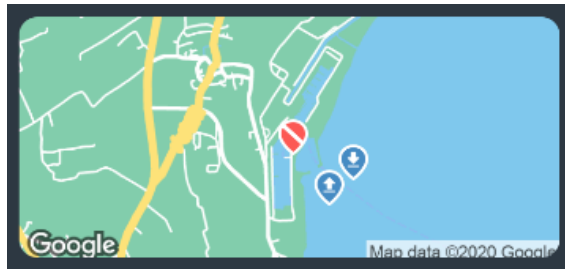
3. 潜水モードの準備完了画面に切り替えます。GPS アイコンの点滅は、GPS が測位中であることを示します。位置決めが完了するとアイコンの点滅が止まります。

クイックヒント: ATMOS アプリの「GPSデータを同期」機能を使用して、衛星エフェメリス(起動情報)データを MISSION2 に同期します。この手順により、デバイスが GPS 信号を取得するのに必要な時間が短縮されます。

4.1.1 エントリー&エキジット記録

エントリーポイント: GPSを取得しながら潜降すると、ダイビングエントリーポイントがマークされます。この情報は、ATMOSアプリのダイブログのマップに表示されます。

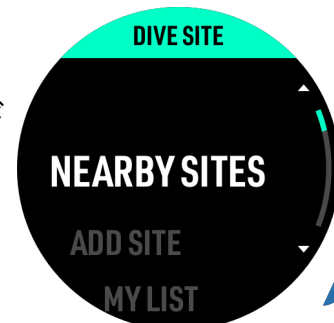
エキジットポイント: MISSION2は、潜水終了時にエキジットポイントを自動的に見つけて記録しようとします。注: この機能は、ダイビング終了時のGPS測位の成功に依存しています。



ダイブログがATMOSアプリに同期された後、エントリーポイントとエキジットポイントがダイビングポイントマップに表示されます。下向きの矢印アイコンは水のエントリーポイント、上向きの矢印アイコンはエキジットポイントです。

4.1.2 ダイビングポイント

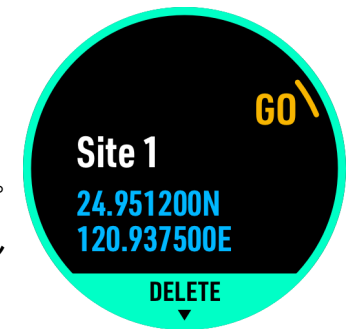
ダイビングポイント機能は、潜降前にダイビング、フリーダイブ、またはゲージモードの設定でアクセスできます。注: これは



GPS位置データに依存するため、GPS測位が完了している必要があります。

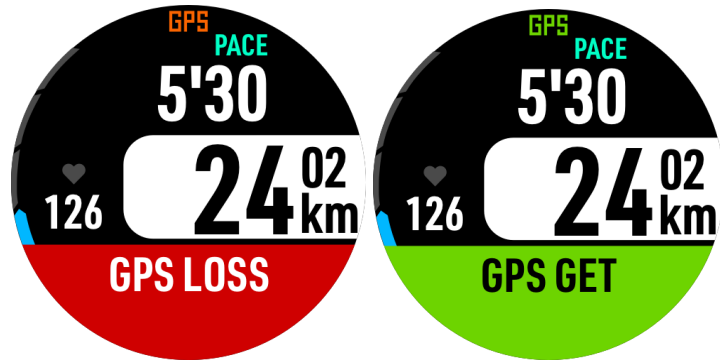
1. 近くのポイント: ATMOSデータベースで近くのダイビングポイントを10カ所表示します。
2. 追加: 新しいダイビングポイントを追加します。デフォルトでは、ポイントは日付とGPS位置によって名前が付けられます。
3. マイリスト: 追加したダイビングポイントを表示します。

クイックヒント: ダイビングポイントがMISSION2に追加されたら、ATMOSアプリを使用してマイリストを編集し、ダイビングポイントの名前を変更します。



4.2 スポーツGPS

アウトドアスポーツ: ランニング、サイクリング、水泳、スキー/ボードのアクティビティを開始する前に、GPS測位を完了する必要があります。GPS測位なしでスポーツを行うと、記録の精度と消費カロリーに影響します。



※ GPS 信号が中断されると、信号が再受信されるまで GPS LOSS アラームが表示されます。信号が再取得されると、GPS GET が短時間表示されます。

5. アクティビティ

5.1 ランニングモード

ランニングモードには、ランニング (屋外モード) とランニングマシンの 2 つのアクティビティオプションがあります。

5.1.1 ランニング準備画面と操作

ランニングモード:

1) 時計のメイン画面から、ボタン B を押してアクティビティメニューに入り、アクティビティの種類を選択します。

GPS 位置が取得されるまで、GPS アイコンが点滅します。信号が取得されると、アイコンが緑色に変わります。障害物の位置と量によっては、信号のロックに数秒かかる場合があります。

2) ボタン C を押して、設定モードに入ります。ベストプラクティスとして、各アクティビティの前に設定を確認することをお勧めします。

3) ボタン B を押してアクティビティを開始します。

ランニングマシンモード:

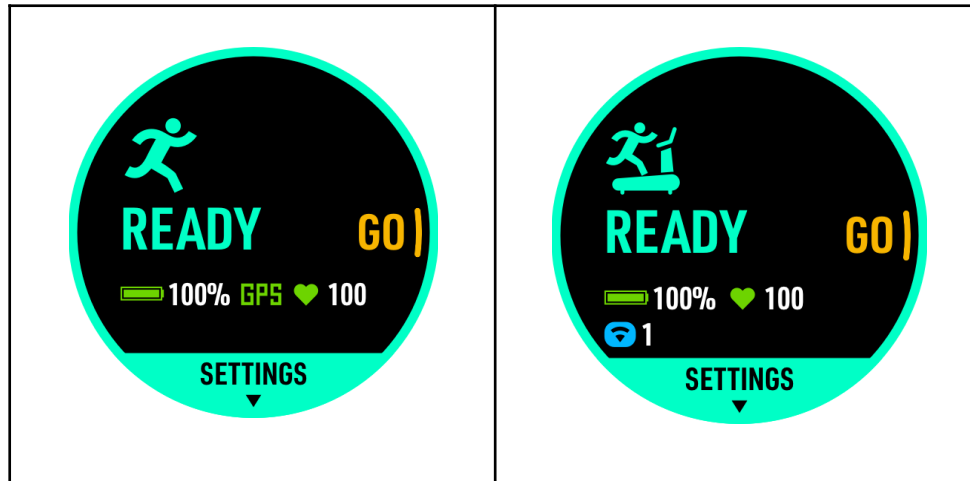
1) 時計のメイン画面から、ボタン B を押してアクティビティメニューに入り、アクティビティの種類を選択します。

このモードでは、GPS 測位やルート追跡は実行されません。

2) ボタン C を押して、設定モードに入ります。ベストプラクティスとして、各アクティビティの前に設定を確認することをお勧めします。

3) ボタン B を押してアクティビティを開始します。

ランニング	ランニングマシン
-------	----------



5.1.2 ランニング用語:

ペース: 1 キロメートルまたは 1 マイルを走る、または完了するのにかかる時間。

たとえば、7 分のペースのランナーは、1 キロ (またはマイル) を 7 分で完了します (一定のペースを仮定)。

ストライド: 片足が最初に接触した後の両足間の距離。

CAD: ケイデンス - 1 分あたりの歩数。

ラップカウント: ランナーがペースを制御または調整するためのツールとして、距離または時間で分割したペースを記録します。

5.1.3 ランニング設定

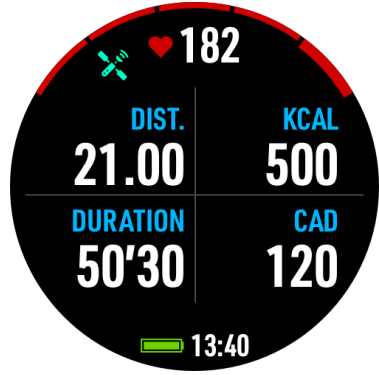
ランニング準備完了画面でボタン C を押して、設定モードに入ります。

調節可能な機能:

フィールド	<p>実行中のサブ画面に表示されるフィールドを変更します。</p> <p>フィールド オプション: 上昇、下降、高度、温度、距離、時間、ペース、kcal、平均ペース、ピッチ、歩幅、ス歩数、平均心拍数、最大心拍数</p>
アラーム	距離: 設定した距離に到達したことを通知します。
	運動時間: 設定した時間 (運動時間) に達すると通知します。
ラップ	手動ラップ: ボタン A を押して手動でラップをカウントします。
	<p>自動ラップ: 自動ラップ カウントには 2 つのモードがあります。</p> <p>距離: 設定した距離に到達すると、自動的にラップをカウントします。</p> <p>運動時間: 設定した時間 (運動時間) に達すると、自</p>

	動的にラップをカウントします。
オートポーズ	動きが止まると、MISSION2 は動きが再開するまでアクティビティを自動的に一時停止します。
ストライド	歩幅を入力します。デフォルト値は、ユーザーが入力した身長から計算されます。
手首の心拍数 /光学式心拍数	必要に応じて心拍数センシング機能を有効にすることができます。
センサー	心拍数モニターなどのセンサーを追加します。
バックライト	バックライトの状態(常時オン)、輝度レベル、手首との連動を調整します。
リセット設定	アクティビティモードの設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

5.1.4 ランニング画面レイアウトとアラーム

ランニングメイン画面	
<p>上中央: 心拍数</p> <p>最初のフィールド: 距離</p> <p>2番目のフィールド: 実行時間</p> <p>3番目のフィールド: ペース</p> <p>下中央: バッテリーの状態と時刻</p>	
ランニングサブ画面	

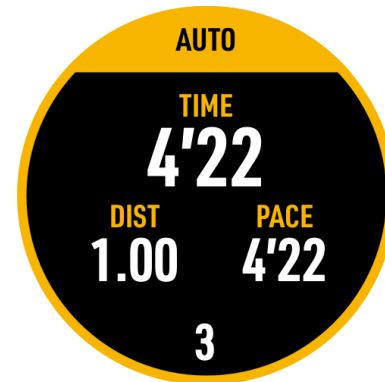
ボタン C を押して、メイン アクティビティ画面とアクティビティ サブ画面を切り替えます。

アクティビティの設定でフィールドオプションを使用して、サブ画面に表示されるプライマリ データフィールドをカスタマイズします。



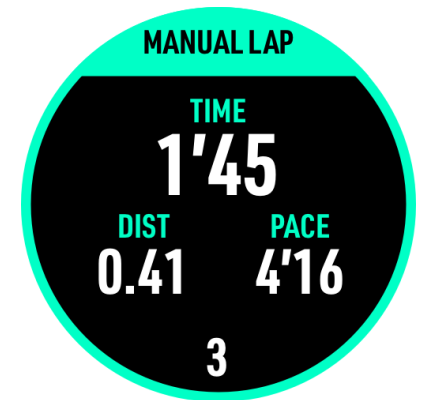
自動ラップカウント

設定した時間または距離に達すると、ラップが自動的にカウントされます。



手動ラップカウント

ボタン A を押して手動でラップをカウントします。



オートポーズ

自動一時停止有効: 動きが止まると、MISSION2 は動きが再開するまで活動を自動的に一時停止します。



ポーズと保存

メインの実行画面で、ボタン D を押してアクティビティを一時停止します。

ボタン A を押してアクティビティを再開します。

ボタン C を押して、アクティビティを保存して終了します。



5.2 サイクリングモード

サイクリングモードには、サイクリングとサイクリングマシンの2つのモードがあります。

5.2.1 サイクリング準備画面と操作

サイクリングモード

1) 時計のメイン画面から、ボタン B を押してアクティビティメニューに入り、アクティビティの種類を選択します。

GPS 位置が取得されるまで、GPS アイコンが点滅します。信号が取得されると、アイコンが緑色に変わります。障害物の位置と量によっては、信号のロックに数秒かかる場合があります。

2) ボタン C を押して、設定モードに入ります。ベストプラクティスとして、各アクティビティの前に設定を確認することをお勧めします。アクティビティに対して外部センサーを有効/無効にしたり、アクティビティの開始前に表示フィールドをカスタマイズしたりできます。

3) ボタン B ボタンを押してアクティビティを開始します。

サイクリングマシンモード

GPS 測位と追跡は、バイク インドア モードでは無効になっています。

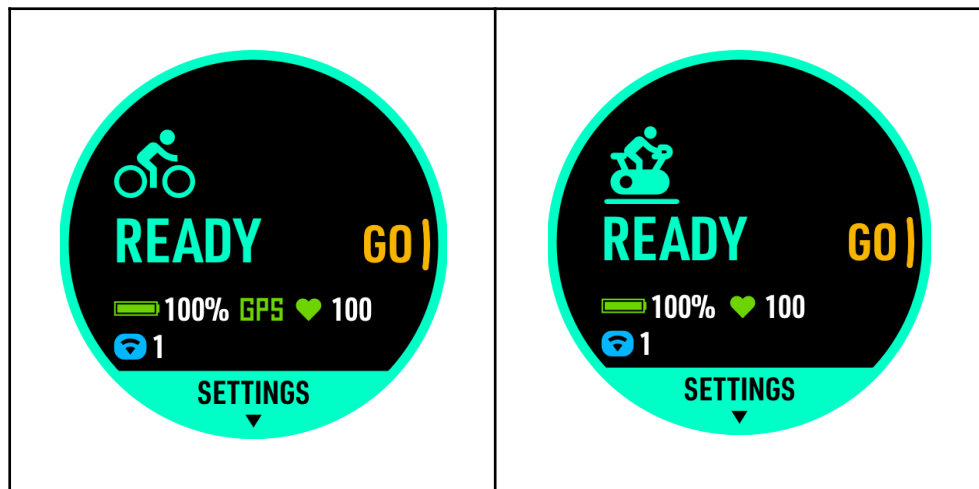
1) 時計のメイン画面から、ボタン B を押してアクティビティレディモードに入り、アクティビティの種類を選択します。

2) ボタン C を押して、設定モードに入ります。ベストプラクティスとして、各アクティビティの前に設定を確認することをお勧めします。アクティビティに対して外部センサーを有効/無効にしたり、アクティビティの開始前に表示フィールドをカスタマイズしたりできます。

3) ボタン B ボタンを押してアクティビティを開始します。

サイクリングモード

サイクリングマシンモード



5.2.2 サイクリング用語

速度: 1時間あたり移動できる距離。たとえば、一定の速度で時速25キロのサイクリストは、1時間で25キロ移動できます。

CAD: ケイデンス。1分間あたりのペダルの回転数。たとえば、片足が円周上の同じ位置を1分間に90回通過すると、90rpm(回転数/分)になります。推奨ケイデンス: 90~110rpm。

ラップカウント: 速度を制御または調整するためのツールとして、セグメントの速度を距離または時間で記録します。

車輪直径: 自転車の車輪の周長を入力します。たとえば、ロードバイクの700*23Cは2096mmに相当します。

車輪のサイズは通常、タイヤの側面に記載されています。これは完全なリストではありません。車輪の直径情報がない場合は、インターネット

を検索して、リストにないサイズを計算できます。

ホイールセット			
タイヤサイズ	周長(mm)	タイヤサイズ	周長(mm)
24 × 1.75	1890	27 × 1-3/8	2169
24 × 1-1/4	1905	29 × 2.1	2288
24 × 2.00	1925	29 × 2.2	2298
24 × 2.125	1965	29 × 2.3	2326
26 × 7/8	1920	650 × 20C	1938
26 × 1-1.0	1913	650 × 23C	1944
26 × 1	1952	650 × 35A	2090
26 × 1.25	1953	650 × 38B	2105

26 × 1-1/8	1970	650 × 38A	2125
26 × 1.40	2005	700 × 18C	2070
26 × 1.50	2010	700 × 19C	2080
26 × 1.75	2023	700 × 20C	2086
26 × 1.95	2050	700 × 23C	2096
26 × 2.00	2055	700 × 25C	2105
26 × 1-3/8	2068	700C Tubular	2130
26 × 2.10	2068	700 × 28C	2136
26 × 2.125	2070	700 × 30C	2146
26 × 2.35	2083	700 × 32C	2155
26 × 1-1/2	2100	700 × 35C	2168

26 × 3.00	2170	700 × 38C	2180
27 × 1	2145	700 × 40C	2200
27 × 1-1/8	2155	700 × 44C	2235
27 × 1-1/4	2161	700 × 45C	2242

5.2.3 サイクリング設定

サイクリング準備完了画面で、ボタンCを押して設定に入ります。

調節可能な機能:

フィールド	サイクリングサブ画面に表示されるフィールドを変更します。 フィールドオプション: 上昇、下降、距離、時間、速度、kcal、CAD、平均速度、平均心拍数、最大心拍数、スロープ、高度、温度
アラーム	距離: 設定した距離に到達したことを通知します。

	運動時間: 設定した時間 (運動時間) に達すると通知します。
ラップ	手動ラップ: ボタン A を押して手動でラップをカウントします。
	自動: 自動ラップカウントには 2 つのモードがあります。 距離: 設定距離に達すると自動的にラップをカウントします。 運動時間: 設定した時間になると自動的にラップをカウントします。
オートポーズ	動きが止まると、MISSION2 は動きが再開するまでアクティビティを自動的に一時停止します。
車輪	自転車の車輪の周長(mm)を入力します。
手首の心拍数/ 光学式心拍数	必要に応じて心拍数センシング機能を有効にすることができます。

センサー	心拍数モニターやケイデンス センサーなどの外部センサーを追加します。
バックライト	バックライトの状態(常時オン)、輝度レベル、手首との連動を調整します。
リセット設定	アクティビティモードの設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

5.2.4 サイクリング画面レイアウトとアラーム

サイクリングメイン画面

<p>上: 心拍数</p> <p>最初のフィールド: 距離</p> <p>2番目のフィールド: サイクリングタイム</p> <p>3番目のフィールド: 速度</p> <p>下: バッテリーの状態と時刻</p>	
<p>サイクリングサブ画面</p>	
<p>ボタンCを押して、メインアクティビティ画面とアクティビティサブ画面を切り替えます。</p> <p>アクティビティの設定でフィールドオプションを使用して、サブ画面に表示されるプライマリデータフィールドをカスタマイズします。</p>	
<p>自動ラップカウント</p>	

<p>設定した時間または距離に達すると、ラップが自動的にカウントされます。</p>	
<p>手動ラップカウント</p>	
<p>ボタンAを押して手動でラップをカウントします。</p>	
<p>オートポーズ</p>	

<p>オートポーズ有効: 動きが止まると、MISSION2 は動きが再開するまで活動を自動的に一時停止します。</p>	
<p>ポーズと保存</p>	
<p>サイクリングのメイン画面で、ボタン D を押してアクティビティを一時停止します。</p> <p>ボタン A を押してアクティビティを再開します。</p> <p>ボタン C を押して、アクティビティを保存して終了します。</p>	

5.3 スイミング

プールとオープンウォーターの2つのスイミングモードがあります。

5.3.1 スイミング準備画面と操作

プールモード

プールモードを初めて使用する場合、プールの長さを入力するよう求められます。この距離が設定されると、MISSION2 は次にプールモードで泳ぐときに同じ設定を使用します。距離が変わった場合は、設定モードに移動して変更します。

- 1) 時計のメイン画面から、ボタン B を押してアクティビティレディモードに入り、アクティビティの種類を選択します。
- 2) ボタン C を押して、設定モードに入ります。ベストプラクティスとして、各アクティビティの前に設定を確認することをお勧めします。
- 3) ボタン B を押してアクティビティを開始します。


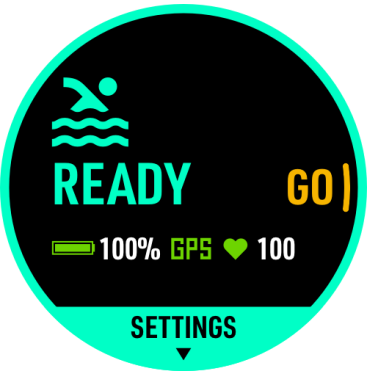
オープンウォーターモード

- 1) 時計のメイン画面から、ボタン B を押してアクティビティレディモードに入り、アクティビティの種類を選択します。

GPS 位置が取得されるまで、GPS アイコンが点滅します。信号が取得されると、アイコンが緑色に変わります。障害物の位置と量によっては、信号のロックに数秒かかる場合があります。

2) ボタン C を押して、設定モードに入ります。ベストプラクティスとして、各アクティビティの前に設定を確認することをお勧めします。

3) ボタン B を押してアクティビティを開始します。

プールモード	オープンウォーター
	

5.3.2 スイミング用語

ペース/100M: 100メートルを完泳するためのペース。

総ストローク: 累積ストローク数。

SWOLF: 水泳効率の尺度。

SWOLF の計算は次のとおりです。ラップを完了するためのストローク数 + ラップを完了するための秒数。SWOLF 値が低いほど、泳ぎの効率が高くなります。

5.3.3 スイミング設定

スイミング準備画面で、ボタン C を押して設定モードに入ります。

調節可能な機能:

フィールド	<p>スイミングサブ画面に表示されるフィールドをカスタマイズします。</p> <p>フィールドオプション: スイムラップ、平均心拍数、最大心拍数、温度、総ストローク数、距離、時間、ペース、kcal、SWOLF</p>
アラーム	距離: 設定した距離に到達したことを通知します。
	運動時間: 設定した時間 (運動時間) に達すると通知します。

プールの長さ(プール)	プールの距離を入力します: 25m、50m、またはカスタム。
ラップ(オープンウォーター)	ラップカウントボタン: ボタンAを押して手動でラップをカウントします
	<p>自動ラップカウントには2つのモードがあります。</p> <p>距離ラップカウント: 設定した距離に到達すると、自動的にラップをカウントします。</p> <p>タイムラップカウント: 設定した時間になると自動的にラップをカウントします。</p>
手首の心拍数/光学式心拍数	必要に応じて心拍数センシング機能を有効にすることができます。
装着リスト	右手/左手
バックライト	バックライト

リセット設定	アクティビティモードの設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。
--------	---------------------------------

5.3.4 スイミング画面レイアウトとアラーム

プールメイン画面	
<p>上: 心拍数</p> <p>最初のフィールド: 距離</p> <p>2番目のフィールド: 周回数と水泳時間</p> <p>3番目のフィールド: 100mペース</p> <p>下: バッテリーの状態と時刻</p>	
オープンウォーターメイン画面	

<p>上: 心拍数</p> <p>最初のフィールド: 距離</p> <p>2番目のフィールド: 水泳時間(ターンを除く)</p> <p>3番目のフィールド: 100mのペース</p> <p>下: バッテリーの状態と時刻</p>	
<p>プールとオープンウォーターのサブ画面</p>	
<p>ボタンCを押して、メイン アクティビティ画面とアクティビティ サブ画面を切り替えます。</p> <p>アクティビティの設定でフィールドオプションを使用して、サブ画面に表示されるプライマリデータフィールドをカスタマイズします。</p>	
<p>ポーズと保存</p>	

<p>メインのスイミング画面で、ボタンDを押してアクティビティを一時停止します。</p> <p>ボタンAを押してアクティビティを再開します。</p> <p>ボタンCを押して、アクティビティを保存して終了します。</p>	
---	--

5.3.5 不正確な距離

プールで泳いでいる場合、次のような状況が発生する可能性があります

不正確な情報:

- ラップの終わりに到達する前に停止する
- 泳ぎ方の変更
- ビート板を使って手のストローク無しで泳ぐ
- 手のストロークを伴わないダイナミックアプネア
- サイドキック、片腕ストローク、バックフローティングなどの非公式なストロークを使用する。

屋外で泳ぐ場合は、アクティビティの前に GPS 衛星の受信が成功していることを確認する必要があります。測位に失敗すると、日報記録の精度に影響します。次の項目は、精度の向上に役立つ場合があります。

- 水に入る前に、さらに 1～2 分待ちます。これにより、時計は現在の位置をさらに三角測量することができます。
- 手首が水面から出るストロークで泳ぐ

5.4 スキー/スノーボード

バッテリーの特性上、氷点下の環境でMISSION2を使用すると、電源が入らない場合があります。極寒の環境に入る前に電源を入れることをお勧めします。氷点下の環境から戻ったときは、熱膨張による損傷を避けるため、熱湯ですすぐことは避けてください。

5.4.1 スキー/スノーボード準備画面と操作

1) 時計のメイン画面から、ボタン B を押してアクティビティレディモードに入り、アクティビティの種類を選択します。

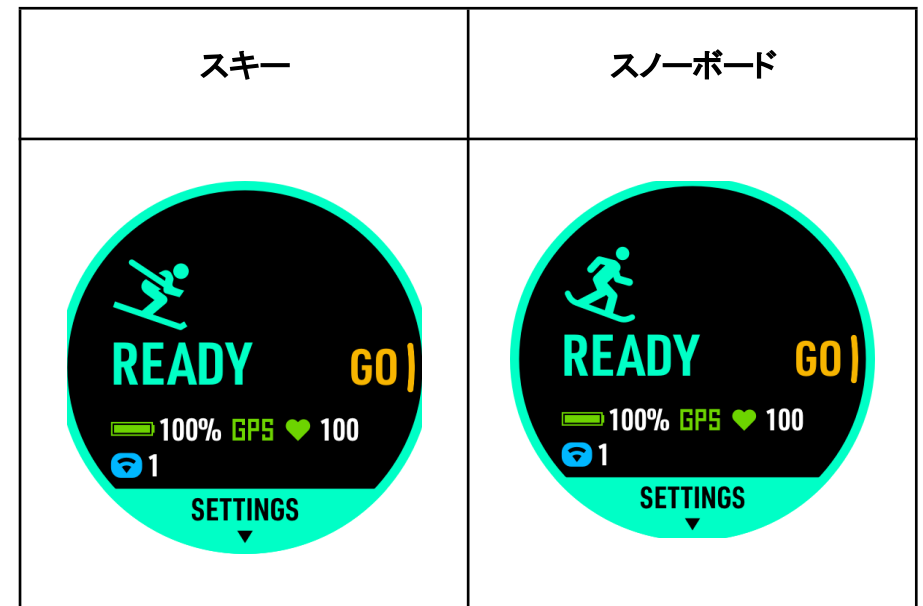
GPS 位置が取得されるまで、GPS アイコンが点滅します。信号が取得されると、アイコンが緑色に変わります。障害物の位置と量によっては、信号ロックに数秒かかる場合があります。

2) ボタン C を押して、設定モードに入ります。ベスト プラクティスとして、各アクティビティの前に設定を確認することをお勧めします。

3) ボタン B ボタンを押してアクティビティを開始します。

* GPS 會閃爍定位, 完成就呈現綠色。

注: 寒い気候は血液循環に影響を与え、心拍数の測定値が不正確になる可能性があります。



5.4.2 スキー/スノーボード用語

速度: 一定の速度で 1 時間に滑れる距離。

ラップカウント: 速度を制御または調整するためのツールとして、セグメントの速度を距離または時間で記録します。

5.4.3 スキー/スノーボード設定


スキー/スノーボード設定準備画面で、ボタン C を押して設定に入ります。

調整可能な機能:

フィールド	スキー/スノーボードサブ画面に表示されるフィールドを変更します。 フィールド オプション: スロープ、距離、高度、時間、速度、kcal、温度、平均心拍数、最大心拍数
アラーム	距離リマインダー: 設定距離に達すると通知します。
	時刻アラーム: 設定した時刻になるとお知らせします。
ラップ	手動ラップ: ボタン A を押して手動でラップをカウントします。

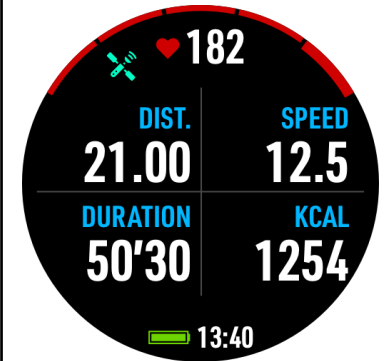
	自動: 自動ラップ カウントには 2 つのモードがあります。 距離: 設定距離に達すると自動的にラップをカウントします。 運動時間: 設定した時間になると自動的にラップをカウントします。
オートポーズ	オートポーズ有効: 動きが止まると、MISSION2 は動きが再開するまで活動を自動的に一時停止します。
手首の心拍数/光学式心拍数	必要に応じて心拍数センシング機能を有効にすることができます。
センサー	心拍数モニターなどの外部センサーを追加します。
バックライト	バックライトの状態(常時オン)、輝度レベル、手首との連動を調整します。
リセット設定	アクティビティモードの設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

5.4.4 スキー/スノーボード画面レイアウトとアラーム

スキー/スノーボードメイン画面	
上: 心拍数	
最初のフィールド: 距離	
2番目のフィールド: 活動時間	
3番目のフィールド: 速度	
下: バッテリーの状態と時刻	
スキー/スノーボードサブ画面	

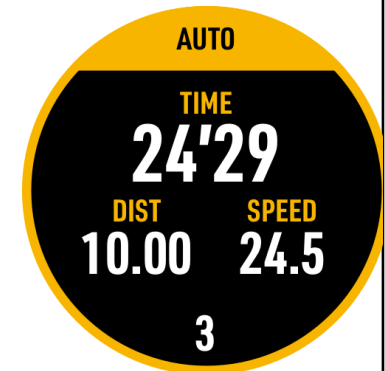
ボタンCを押して、メイン アクティビティ画面とアクティビティ サブ画面を切り替えます。

アクティビティの設定でフィールドオプションを使用して、サブ画面に表示されるプライマリ データフィールドをカスタマイズします。




自動ラップカウント

設定した時間または距離に達すると、ラップが自動的にカウントされます。



手動ラップカウント

<p>ボタン A を押して手動でラップをカウントします。</p>	
<p>オートポーズ</p>	
<p>自動一時停止有効: 動きが止まると、MISSION2 は動きが再開するまで活動を自動的に一時停止します。</p>	
<p>ポーズと保存</p>	

<p>スキー/スノーボードのメイン画面で、ボタン D を押してアクティビティを一時停止します。</p> <p>ボタン A を押してアクティビティを再開します。</p> <p>ボタン C を押して、アクティビティを保存して終了します。</p>	
--	---

6. 保管とメンテナンス

* MISSION2 のベゼル、ボタン、および充電ポートは、耐食性に優れた 316 ステンレス鋼で作られています。ただし、使用後に汚れ、汗、塩水などの物質を洗い流さないと、腐食が発生する可能性があります。毎日のアクティビティの後、MISSION2 を真水で十分に洗い流してください。

* MISSION2 を保管するには、コンピュータを完全に充電してから、MISSION2 の電源をオフにしてください。MISSION2 は、衝撃、熱、湿気から保護され、直射日光を避け、涼しく乾燥した場所に保管してください。

* MISSION2 はリチウム電池を使用しており、時間の経過とともにゆっくりと放電する場合があります。MISSION2 を使用していないときは、ATMOS はバッテリーの寿命を延ばすために、2 か月に 1 回デバイスを完全に充電することを推奨しています。

* 静電気は MISSION2 の誤動作や、強い静電気により電子部品が破損する原因となります。

* MISSION2 にはコンパス機能がありますので、コンパスの故障や誤動作の原因となりますので、医療機器などの強い磁場は避けてください。

* MISSION2 は、通常の日常使用やスポーツ活動に耐える頑丈なデバイスです。ただし、落下や強い衝撃により、誤動作や画面割れの原因となる場合があります。

* MISSION2 を直射日光の当たる場所や、直射日光が当たる場所や高温になる車内に放置しないでください。極端な高温または低温は、MISSION2 の電子部品の誤動作や損傷の原因となります。

7. 保証規定

消費者限定保証

限定的保証

製品は、購入日から 1 年間、材料または製造上の欠陥がないことが保証されます。保証サービスを受けるには、元の販売店からの領収書の原本またはコピーが必要です。

保証サービスは購入した国で有効です。ケース、ガラス、バッテリー、バンドなどの消耗品または耐久性が限定的な部品を除き、この製品は保証期間内に材料または製造上の欠陥がないことを保証します。

保証期間中、および購入証明により、製品は ATMOS の交換部品または再生部品で修理されるか、同一または類似モデルの新品または再生デバイスと交換されます。

これらの保証サービスを受けるには、購入日を示す販売レシートまたはその他の購入証明書のコピーを添えて、送料を支払い、製品を ATMOS 認定保証ネットワークのメンバーまたは購入した販売店まで持参または送付してください。

次の場合、お客様は、この保証に基づいて修理、交換、または返金を請求することはできません。

- 1) 問題が、不適切、乱暴または不注意な取り扱いによって引き起こされた場合。
- 2) 火災またはその他の自然災害が原因である場合。
- 3) アトモスサービスセンター以外による不適切な修理や調整が原因の場合。

- 4) ケース、ガラス、バッテリー、またはバンドの摩耗に問題がある場合。
- 5) サービスを依頼する際に購入証明書を提示しない。
- 6) 保証期間が過ぎている。

この保証は、明示または黙示を問わず、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証または条件を含む、いかなる保証も保証期間を超えて延長されるものではありません。

また、本製品の不正確さ、数学的不正確さ、または保存データの損失から生じる損害を含むがこれに限定されない、いかなる付随的または結果的損害についても責任を負わないものとします。

州または法域によっては、黙示的保証の存続期間の制限を認めず、また州または法域によっては、付随的または派生的損害の除外または制限、あるいは当事者の過失による死亡または身体傷害に対する当事者の責任の除外または制限を認めない場合があります。

このような場合、上記の制限または除外は適用されないものとします。本保証は、お客様に特定の権利を与えるものであり、お客様は、管轄区域、または国ごとに保証を受けることができます。この保証書は、お客様の法的権利を侵害するものではありません。

8. サービス

MISSION2 の内部には、ユーザーが修理できる部品はありません。フェースプレートのネジを締めたり、取り外したりしないでください。水のみで洗浄してください。溶剤は、MISSION2 ダイブコンピュータを損傷する可能性があります。

MISSION2 のサービスは、ATMOS または認定サービス センターでのみ行うことができます。

日本国内でのサービスのご要望につきましては

ご購入店、またはMISSION2取扱いのビーイズム製品取扱店へお問い合わせください。

9. MISSION2 仕様

一般

モデル	MISSION2
耐水性	100m (EN13319)
サイズ	50 x 50 x 16.8 mm

重量	83g
レンズ材質	サファイヤクリスタルレンズ
ディスプレイ	1.2 インチ、太陽光下可視、半透過型、高解像度カラー ディスプレイ
ベゼル、ボタン材質	ステンレススチール316L
ケース材質	繊維強化ポリマー
時計ベルト	シリコーン、幅26mm、クイックリリース
リチャージャブルバッテリー	✓ リチウムイオン、工場で交換可能
メモリー/ヒストリー	100ログ
言語	英語、韓国語、日本語、中文(簡体字)、中文(繁体字)
メトリック・インペリアル	✓
動作温度(ダイビング)	0° C から +45° C (±2° C)
動作温度(ダイビング以外)	-20° C から +60° C

バッテリー寿命	ウォッチモード(心拍数オフ): 最大7日間 スポーツモード(GPS & 心拍数オン): 最大7時間 ダイブモード: 最大20時間(電池寿命は使用状況により異なります)
ファームウェアアップデート	✓

時計

時刻、日付	✓
GPS 時刻同期	✓
デュアルタイム	✓
目覚まし時計	✓
ストップウォッチ	✓
24時間制	✓

ヘルスマニタリング

心拍	✓
睡眠	✓
カロリー消費	✓
歩数計	✓

センサー

GPS	✓ (GPS, GLONASS)
高度計	✓
デジタルコンパス	✓
ジャイロスコープ	✓
加速度計	✓
温度計	✓
深度センサー	✓

デイリースマート機能

スマートフォン互換性	サポートされている最も一般的な iOS/Android スマートフォン
スマート通知	✓
日の出・日の入り時刻	✓
天気	✓
潮汐	✓

ダイビング機能

モード	エア/ナイトロックス/フリーダイブ/フリーダイブプール/ゲージ
減圧モデル	ビュールマン ZHL-16c (GF 設定可能)
気体	✓ 単一ガス (酸素 21-40%)
水中起動	✓
深度 & 時間アラーム	✓

安全停止	✓
潜水浮上表示	✓
飛行機登場禁止時間	✓
水面休息时间	✓
フリーダイブ浮上/潜降アラーム	✓ (10 セット)
フリーダイブストップウォッチ	✓
ダイブプランナー	✓
Po2	1.2-1.6
淡水/海水	✓
バックライト	✓ (潜水時自動on)
高度調整	✓ (自動)
デジタルコンパス	✓
エントリー&エキジットGPS位置記録	✓ (水面使用のみ)

ダイブスポットGPS案内	✓ (水面使用のみ)
アラーム方法	視覚、振動、可聴ブザー
アラートとアラーム	浮上速度違反 安全停止 低 NDL 減圧停止 減圧停止指示違反 潜水時間 深度 ローバッテリー MOD CNS 水面休息时间通知 残圧計チェック
残留組織負荷リセット	✓
デジタルダイブログ	ATMOSアプリ (iOS/ Android)

スポーツ

ランニング	✓ (インドア/アウトドア)
サイクリング	✓ (インドア/アウトドア)
スイミング	✓ (インドア/アウトドア)
スキー/スノーボード	✓

箱の内容

同梱品	MISSION2 標準シリコンベルト (幅 26mm, 長さ135-230mm) 時計ベルトピン(2個) 充電ケーブル 画面プロテクター (2個) 保証書
-----	--

10. お問い合わせ

日本総販売代理店

株式会社ビーイズム

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-18NFビル5F

TEL:03-5640-8126

製造元

ATMOS Co., Ltd.

16F-7, No. 258, Liancheng Rd., Zhonghe Dist., New Taipei City 235,
Taiwan (R.O.C.)

+886-2-82271899

info@atmos.app